

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	ホームの目標達成計画を議題として取り上げ、進捗状況を報告すると共に、意見や提案を募ってホームの改善活動に繋ぐことを期待する事を課題とする。	何時でもどこでも意見や提案が出やすい雰囲気を作る。	会議に出席するに関しては職員を固定化せず、平均的に参加をさせる。	12ヶ月
2	10	家族アンケートの結果は良い評価を頂いているが、ホームから足が遠のき参加しない家族も多い。その家族をいかにホームに興味を持ってもらえるか、工夫と期待をしたい。	ホーム内に利用者様の制作作品や写真を掲載し、小さな展示会を半年に1回開催する。	利用者様の日々のレクや趣味の作品作りに支援をして行く。	12ヶ月
3	23	直ぐ実現できる『思い』を把握して叶えた事例が多くある。時間がかかったり、計画的に進める必要のある『思い』を介護計画で取り上げ、実現して行くことを期待したい。	日々のケア記録の中から実現できる『思い』を計画し進めて行けるようサービス計画に取り上げ実現していく。	ケア記録に掲載し、短期に実現できる目標を立てる。	3ヶ月
4	26	利用者の”その人らしさ”の感じられる内容を盛り込み、手の届く具体的な短期目標にして利用者・家族及び職員が共に達成感を味わえる介護計画を期待したい。	短期目標を実現できる内容とし、本人は勿論、職員も達成感が得られるようにする。	週に2回個人外出支援の中に利用者様よりこまめに意見や情報を取りまとめ実現していく。	3ヶ月
5	35	運営推進会議メンバーに避難訓練の状況を見せ『夜間の一人体制での避難誘導の限界』を理解してもらい、会議の議題に取り上げて地域の協力体制の構築を期待したい。	ホームからのひまわり通信に『避難訓練を掲載』して地域の協力を構築していく。	次のひまわり通信に避難訓練の実施日を記載し、協力と参加のお願いをする。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。